

# MICEを巡る最近の動向について

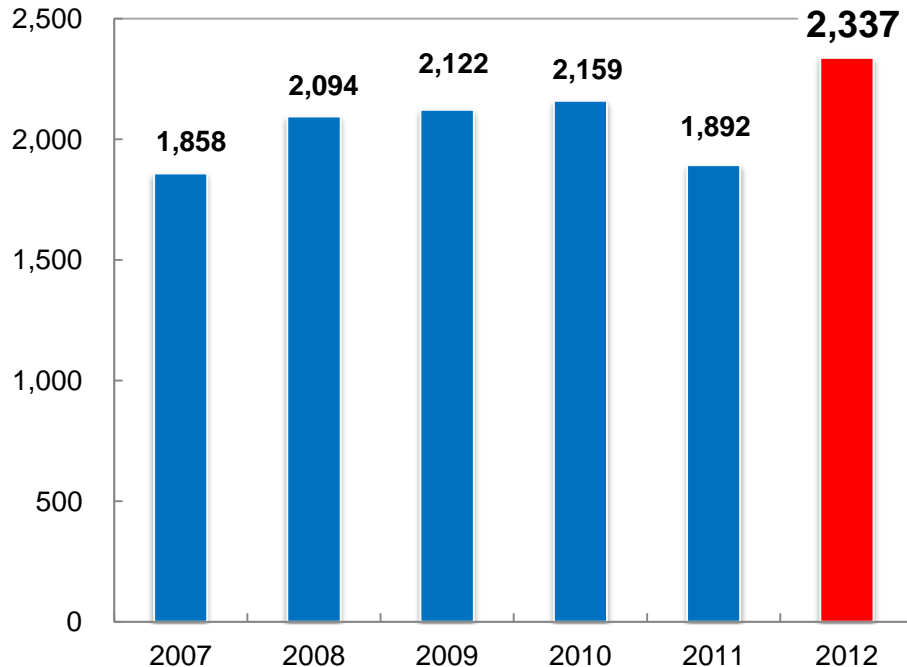
日本政府観光局 (JNTO)

コンベンション誘致部

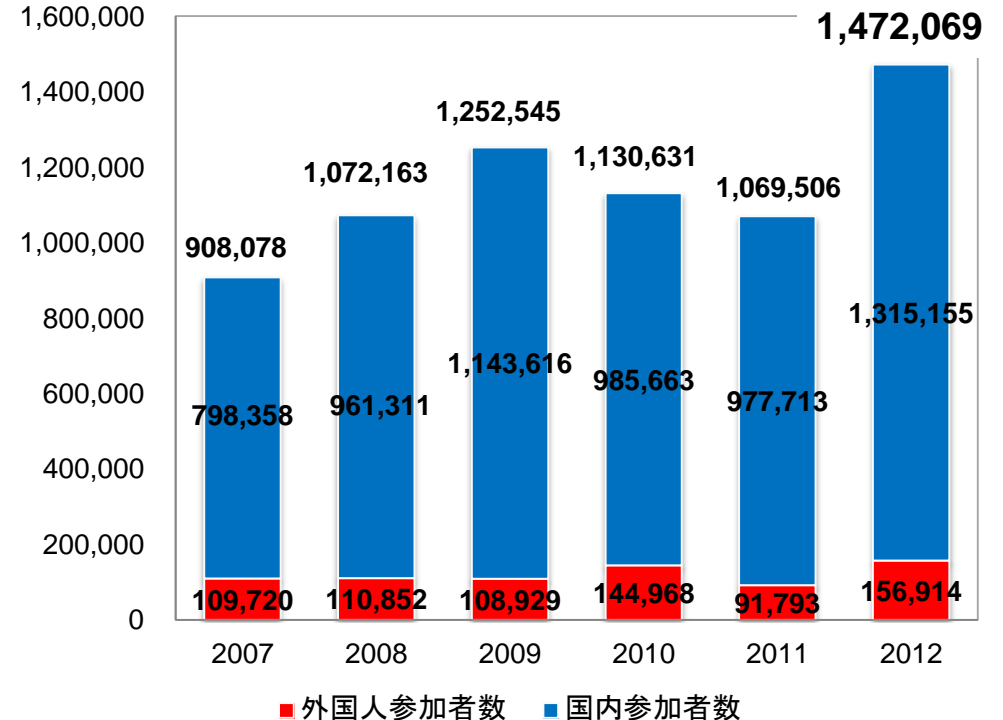
2014年3月18日

# 1. JNTO統計(2012)の結果・分析

## ■国際会議開催件数



## ■参加者数



➤ 前年比23.5%増の2,337件の開催。

➤ 総参加者数は前年比37.6%増の1,472,069人。

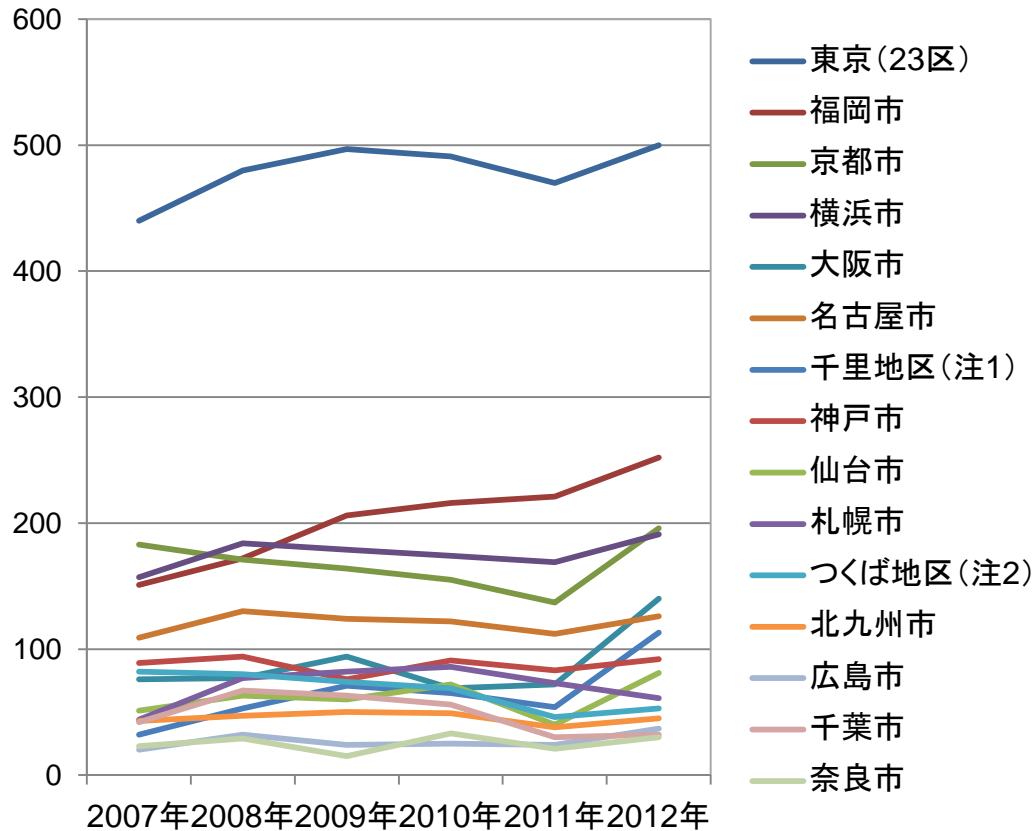
➤ 外国人参加者数は前年比70.9%増の156,914人

\*JNTO統計基準

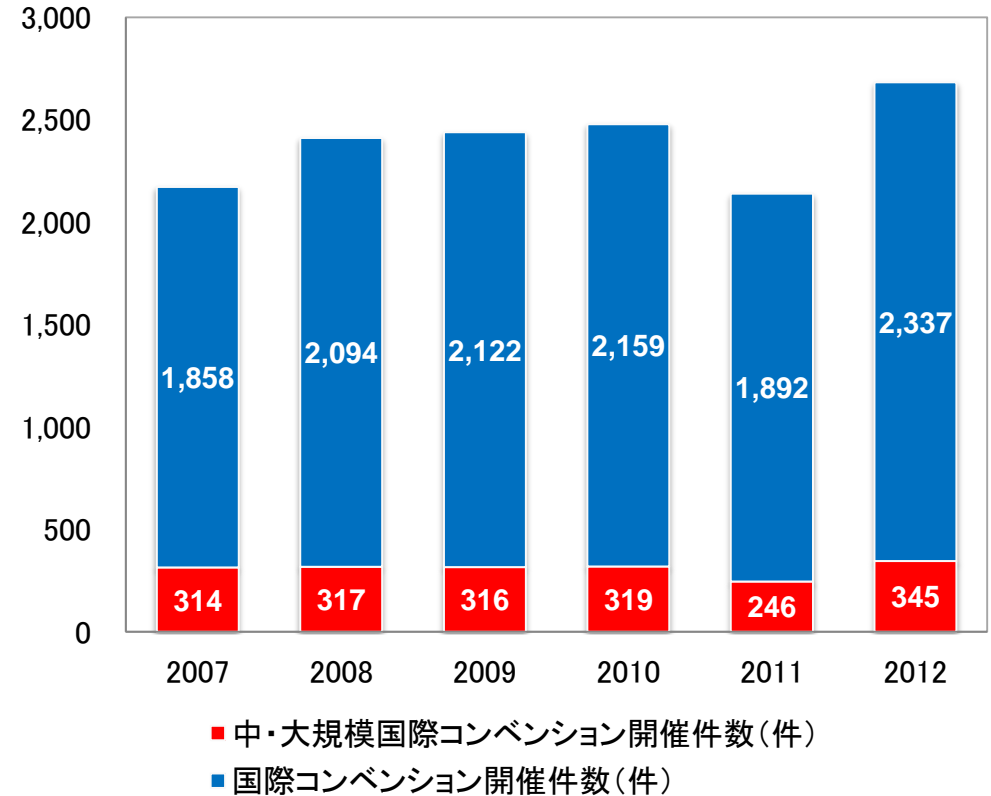
- ①主催者:「国際機関・国際団体(各国各支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」
- ②参加者数:50名以上
- ③参加国:日本を含む3ヶ国以上。
- ④開催期間:1日以上

# 1. JNTO統計(2012)の結果・分析

## ■都市別開催件数（上位15都市）



## ■中大型会議の開催件数



➤ 東京（23区）が500件と最も多く、次いで福岡市（252件）、京都市（196件）、横浜市（191件）、大阪市（140件）。

➤ 参加者総数が300人以上で、うち外国人が50人以上を占める「中・大型国際会議」の開催件数は、前年比40.2%増の345件。

## 2. ICCA統計(2012)の結果・分析

### ■世界における国別の国際会議開催件数

2011年

順位	国名	件数
1	米国	759
2	ドイツ	577
3	スペイン	463
4	英国	434
5	フランス	428
6	イタリア	363
7	ブラジル	304
<b>8</b>	<b>中国</b>	<b>302</b>
9	オランダ	291
10	オーストリア	267
11	カナダ	255
12	スイス	240
<b>13</b>	<b>日本</b>	<b>233</b>
14	ポルトガル	228
<b>15</b>	<b>韓国</b>	<b>207</b>
<b>16</b>	<b>オーストラリア</b>	<b>204</b>

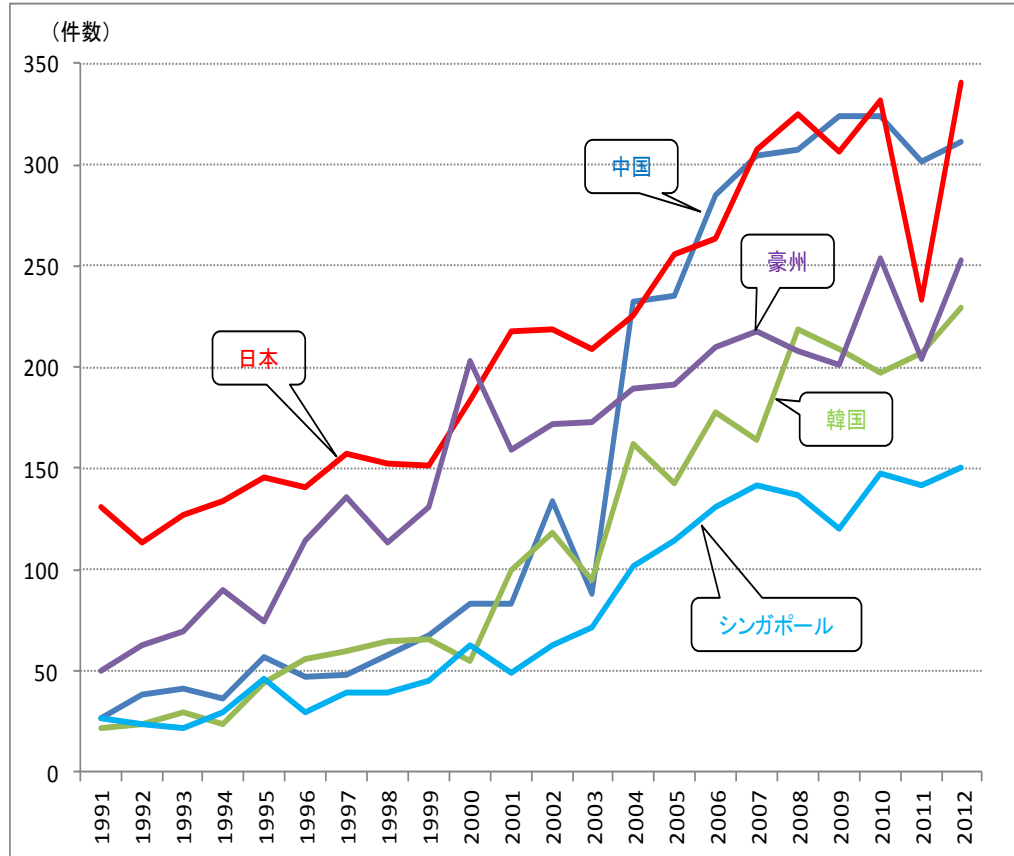
2012年

順位	国名	件数
1	米国	833
2	ドイツ	649
3	スペイン	550
4	英国	477
5	フランス	469
6	イタリア	390
7	ブラジル	360
<b>8</b>	<b>日本</b>	<b>341</b>
9	オランダ	315
<b>10</b>	<b>中国</b>	<b>311</b>
11	オーストリア	278
12	カナダ	273
<b>13</b>	<b>オーストラリア</b>	<b>253</b>
14	スイス	241
<b>15</b>	<b>スウェーデン</b>	<b>233</b>
<b>16</b>	<b>韓国</b>	<b>229</b>



## 2. ICCA統計(2012)の結果・分析

### ■アジア・大洋州地域国別開催件数の推移



### ■アジア・大洋州地域都市別開催件数

2011 アジア・大洋 州順位	2011年 開催件数	都市	2012 アジア・大洋 州順位	2012年 開催件数	都市
1位	142件	シンガポール	→ 1位	150件	シンガポール
2位	111件	北京	→ 2位	109件	北京
3位	99件	ソウル	↘ 3位	105件	バンコク
4位	83件	台北	↘ 4位	100件	ソウル
5位	78件	クアラルンプール	↘ 5位	96件	香港
6位	77件	香港	↘ 6位	86件	シドニー
7位	72件	上海	↘ 7位	80件	台北
8位	70件	バンコク	↘ 8位	69件	クアラルンプール
9位	62件	メルボルン	↘ 8位	<b>69件</b>	<b>東京</b>
10位	57件	シドニー	↘ 10位	64件	上海
11位	<b>50件</b>	<b>東京</b>	↘ 11位	<b>61件</b>	<b>京都</b>
12位	37件	済州	↘ 12位	54件	メルボルン
12位	37件	ニューデリー	→ 13位	48件	ニューデリー
14位	<b>29件</b>	<b>京都</b>	↘ 14位	47件	パリ
15位	27件	釜山	↘ 15位	40件	ブリスベン
16位	24件	ブリスベン	↘ 16位	38件	ドバイ
17位	23件	パリ	↘ 17位	33件	済州
18位	22件	オークランド	↘ 18位	32件	釜山
18位	22件	マニラ	→ 18位	31件	マニラ
20位	<b>19件</b>	<b>福岡</b>	→ 20位	<b>23件</b>	<b>福岡</b>
20位	19件	大阪	↘		ランク外

### 3. 誘致成功事例

#### ■平成22年～25年に誘致成功した主な国際会議

国際会議名	開催年	開催地	参加者数
世界獣医麻醉会議	2015	京都	500
国際第四紀学研究連合会議 (INQUA)	2015	名古屋	800
国際哺乳類学会議	2015	札幌	800
ライオンズクラブ国際大会	2016	福岡	25,000
国際細胞学会	2016	横浜	5,000
国際疫学会議	2017	大宮	1,000
国際肺癌会議	2017	横浜	8,000
世界神経学会	2017	京都	7,000
世界盆栽会議	2018	大宮	1,000
国際水協会世界会議	2018	東京	6,000
世界矯正歯科学会	2020	横浜	6,500
国際栄養学会	2021	東京	4,500

## 4. 他国の取り組み ～韓国～



### ■ 支援制度の充実

#### 候補会議の把握

学協会データベースの構築及び**広報アンバサダープログラム**の導入

#### 誘致準備

(海外) 海外事務所を通じ広告、ロードショーセミナー、セールスコールを展開  
(国内) 英文プレゼン資料の作成及びネットワーキング強化等、コンサルティングプログラムの強化

#### 誘致競争

前回大会時の広報活動支援、**Korean Nightの開催**、韓国広報ブース運営等の誘致活動支援

#### 開催準備

会議開催プログラムやコンテンツ及び観光商品等に関するコンサルティング強化と会議の品質管理

#### 開催支援

支援金提供以外にも文化観光広報ブースの運営、韓国の伝統文化体験、オーダーメイド型観光の提供等、メニューを拡大

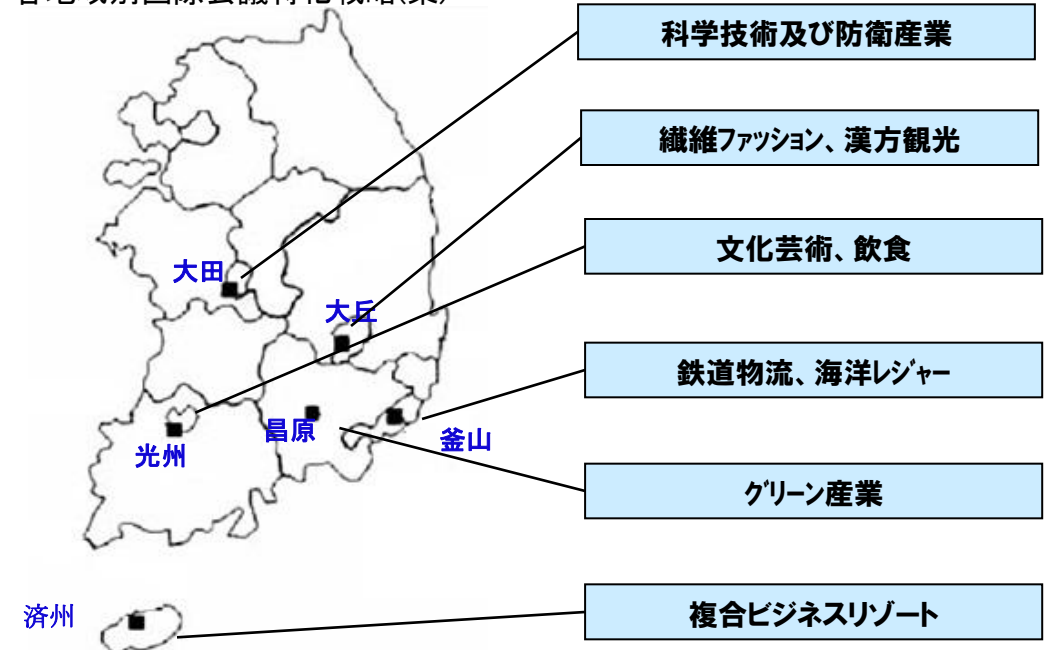
### ■ 品質管理への取り組み

- ◆ 国際会議の誘致・開催に係る**成功及び失敗事例の分析事例集の発行**
- ◆ 国際会議都市評価制度導入

- 国際会議都市の数的実績報告(会議件数、参加者数、CVB会員数、専門人材確保、財政支援、コンベンションセンター経営実績等)を基盤とした評価を行い国際会議都市の管理を強化

### ■ 地域の重点産業と関連した国際会議の育成

各地域別国際会議特化戦略(案)



## 4. 他国の取り組み ～マレーシア～

### ■国際会議等への支援制度

<b>概要</b>	<p>2011年よりMyCEB（マレーシア・コンベンション&amp;エキシビジョン・ビューロー）がマレーシア政府と協力して助成金制度を設立。2011年～2013年の3年間に、最大で3,270万米ドル（32億7千万）の助成を実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ビッドの段階からイベントの実施全般に至るまでの支援</li> <li>◆イベントのマーケティング及びプロモーション</li> <li>◆参加者向け市内観光及びカルチャーショーの企画</li> </ul>
<b>選択基準</b>	<p>支援額については、以下の項目をもとにMyCEBにて決定される。また、各MICEイベントが受けられる支援のレベルやタイプについては、MOUに明記される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆海外からの参加者数の数（全参加者の20%以上）</li> <li>◆予定滞在日数（延べ人数1,000名以上）</li> <li>◆イベントの経済波及効果</li> <li>◆その他基準（イベントのプロフィール、時期、歴史やコミュニティーにとっての価値）</li> </ul>



2020年までに、入国者に占めるビジネス旅行者の割合を5%から8%に増やし、国際会議の開催件数において、アジア太平洋地域でトップ5に入ることを目指す。

### ■インセンティブ旅行への支援制度 –Twin Deal Programme-

<b>Deal 1 (参加者向け)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラディナーへの文化パフォーマンスの提供</li> <li>・チームビルディングのアクティビティまたは半日ツアーの提供</li> <li>・ウェルカムギフト</li> <li>・入国時のファストトラック</li> <li>・ショッピング割引券</li> <li>・飲食への支援</li> <li>・MyCEBのCEOによる各参加者向けウェルカムレター、市内マップ、ポストカード等の入ったウェルカムパックの提供</li> </ul>
<b>Deal 2 (主催者向け)</b>	<p>・500名以上のインセンティブ旅行や企業会議を決定したミーティング/インセンティブプランナーへ以下の特典を付与。</p> <p>クアラルンプール、ペナン、ランカウイ、コタキナバルのいずれかの往復チケット、5つ星ホテルの宿泊及びスパが組み込まれたバケーションパッケージ</p>



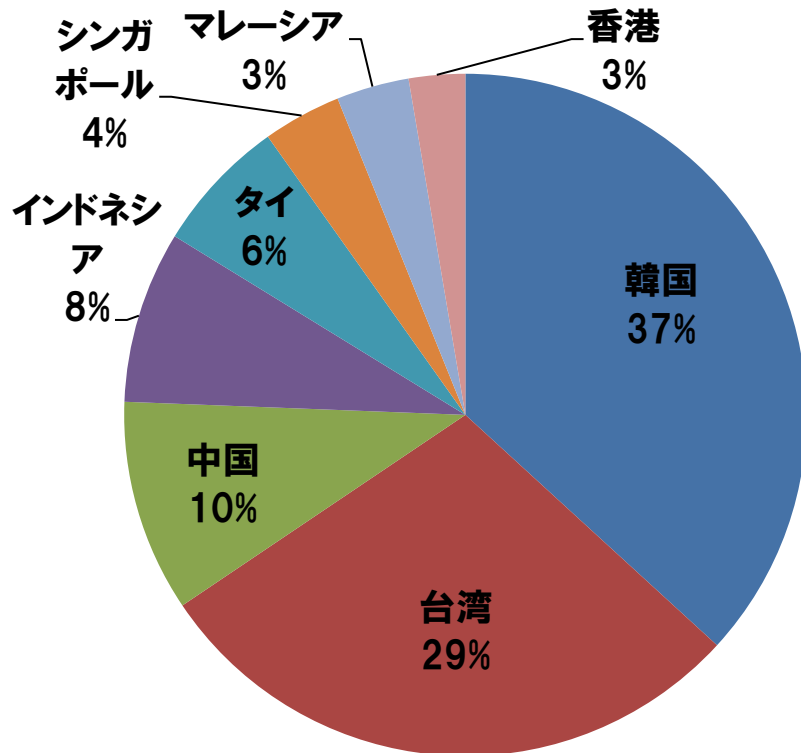
上記プログラムの導入後、1年以内で中国からのインセンティブ旅行者数が約9,000名に達する等の成果をあげている。



## 5. アジアのインセンティブ旅行の動向について

### ■ JNTOが催行に貢献したインセンティブ旅行の実績

平成24年度 件数:599件 人数61,741人  
 (件数前年比 122.5% 人数前年比 150.9%)



1位	韓国	21,798人
2位	台湾	17,039人
3位	中国	5,951人
4位	インドネシア	4,834人
5位	タイ	3,792人
6位	シンガポール	2,201人
7位	マレーシア	2,039人
8位	香港	1,580人